



# 新羽小だより

令和6年(2024年) 1月9日  
第597号  
横浜市立新羽小学校  
Tel 543-8871  
Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa/>

## 「まごころ」の先に



校長 佐藤 恵子

新年を迎えました。1月1日に発生した能登半島地震で被災された方、関係者の方には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

1月9日、当たり前のように教育活動を始められることに感謝しつつ、教職員一同、今年も新羽らしさを大切にして「わたしがかがやき みんながかがやく 新羽の子ども」の実現に取り組んでいく所存です。保護者の皆さまには変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

4月からこれまでを振り返ると、本校の教育活動は、いろいろな場面で保護者の皆さまのボランティアに助けられることが多かったと感じます。交通安全教室、運動会、新体力テスト、水泳学習、なかよし遠足、新羽音楽発表会、ミシン、調理実習、総合的な学習の時間、登下校の見守りなど、ボランティアの呼びかけに快く応じていただきました。また、PTA 本部役員・各委員会の皆さまには、いつもチームワークを大切にしながら、円滑な学校運営のために大きな役割を果たしていただいています。皆さまのまごころに心から感謝申し上げます。

そして、地域の方からもたくさんのまごころを受け取っています。「新羽小学援隊」様が、令和5年度横浜市交通安全協力団体として、横浜市学校保健会より表彰されます。学援隊の皆さまには、毎朝登校時に明るい「おはよう」のあいさつとともに、子どもたちの交通安全を見守っていただいています。「黄緑色のベストを着たいつもの近所の方」の存在が、子どもたちに大きな安心を与えています。長年の交通安全へのご協力に心より感謝申し上げます。そして、学校耳鼻咽喉科医としてお世話になっている港北耳鼻咽喉科の鈴木一輝先生が、勤続10年表彰を受けられます。鈴木先生には健康診断をはじめ、子どもたちの健康管理にご尽力いただいています。

現在6年生が、「新羽の魅力を伝えよう」を合い言葉に、紙芝居とかるたを制作しています。新羽の歴史や伝統、産業や人々の暮らしについて調べ、その魅力を発信するプロジェクトの最終段階です。このプロジェクトで得たことを、将来、



時代の風の中で柔軟に変化させ、自分たちの手で育てていってほしいと思います。過去や今にとどめず遠く広がる未来へつなげることが、このプロジェクトに込められた願いです。

「まごころ」。効率化が求められる時代の中であまり聞かれなくなった言葉です。しかし、子どもたちを見ていると、この「まごころ」に改めて替えがたい尊さを感じます。古いものを大事に守ってきた祖先のまごころ、社会を創りまちを育ててきた人々のまごころ、どこまでも愛情深く子どもに寄り添ってきた人々のまごころ、すべてのまごころの先に私たちは生き、子どもたちは成長していきます。子どもたちも私たち教職員もこの「まごころ」に深く感謝し、自分たちらしい形で、後の世の人々に新たな「まごころ」を与えられる人でありたいと思います。